

令和元年6月5日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

広報室

---

---

<国立登山研修所 韓国公団との連携事業>

## インバウンド登山者対策を念頭に日韓合同山岳救助訓練等を実施

---

---

日本スポーツ振興センター（JAPAN SPORT COUNCIL：JSC）が管理・運営する国立登山研修所は平成22年より大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院と安全登山の普及や事故防止を目的とした連携協約を締結しています。この度、6月10日～同15日の日程で国立登山研修所の所員や研修講師らが訪韓し、山岳救助をテーマとして合同訓練や情報交換を行います。

現在日本では海外からの訪日客の増加に伴い、外国人登山者の数も増えています。隣国である韓国からも多くの登山者が見られますが、日本と韓国の登山文化や制度の違いから、遭難のパターンや救助の際の注意点なども異なってきます。

今回の訪韓では、双方の登山の事情についての情報交換や、山岳救助の合同訓練を通して相互に知識と技術を磨き、国立登山研修所が10月に開催する山岳遭難救助研修会を始めとして国立登山研修所の事業に活かすこととしています。

### 【事業概要】

訪問先 大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院等

日程 6月10日～同15日（出発・到着は富山きときと空港）

参加者 6名（国立登山研修所員ら3名、研修講師ら3名）

※研修講師は富山・長野・岐阜の各県警察山岳警備(救助)隊員

### 【大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院について】

平成22年2月に大韓民国国立公園管理公団山岳安全教育センターが開所。同年に国立登山研修所と連携協約を結ぶ。韓国においてレジャーとして登山が盛んになり、登山人口が増える一方で、山岳遭難事故も増加傾向にあることから、安全登山のための教育活動をする施設として歩みを始める。その後、幾度かの名称変更や組織改編を経て、現在の北漢山生態探訪院となっている。